

Stataによる計量データ分析の基礎

日時： 3月9日(月)~3月10日(火) 10:00~17:15

場所： 東京大学(本郷)赤門総合研究棟2階 教育学部200番教室

料金： 一般 6,000円、学生 3,000円

講師： 筒井淳也(立命館大学)

秋吉美都(専修大学)

テキスト： 『STATAで計量経済学入門』ミネルヴァ書房。

*必ず購入しなければならないわけではありませんが、購入を推奨いたします

本コースの内容

統計ソフト STATA を用いた初級~中級レベルの講義です。日本語ではじめての本格的 STATA テキストの執筆陣によって、STATA の操作方法から汎用性の高い個別手法にいたるまで、具体的な解説がなされます。統計的な基本知識、ソフトの操作、実質的研究での応用事例を、バランスよく学ぶことができます。

このような方におすすめです

- ・ STATA のプログラミングなど、使用方法をマスターしたい
- ・ 基本的な分析法は習得したので、次のステップに進みたい
- ・ データ解析の実践の場で活かせるテクニックを身につけたい

注意事項

マシン実習はありません(講師による STATA 操作のデモのみです)

本コースには、所属機関などによる受講者制限はありません

本コースの日程

9日 担当：筒井

イントロダクション Stata を利用したデータの扱い方を基礎から説明します。データファイルの開き方・保存法・変換法、アップデート、ログの取り方からはじめて、変数操作(作成・ラベル貼り・ソート・加工など)、ごく簡単なプログラム方法までを解説します。

記述統計 基本統計量の出力、クロス表のバリエーション、グラフ出力などの記述のためのコマンドから、簡単な検定のコマンドまでを説明します。

回帰分析基礎編 OLS 回帰分析の基本的な考え方と、基本コマンド、結果の解釈を中心に説明します。

10日 担当：秋吉

回帰分析応用編 OLS 回帰分析の推計後の診断のためのコマンドの説明を、実際のデータを使って行います。基本コマンドに加えてダミー変数、交互作用項を使った回帰分析、残差分析、多重共線性の診断などもカバーします。

カテゴリカルデータ分析基本編 個票分析などで頻りに用いられるカテゴリカルデータの分析方法について解説します。オッズ比、相対リスクの考え方など、クロス表の理解に必要な基本概念を説明します。

カテゴリカルデータ分析応用編 基礎編で導入した概念をもとに、ロジスティック回帰、プロビット回帰などカテゴリカルデータ分析で広く用いられているモデルの作り方とその分析方法を扱います。